

平成 29 年度シラバス (保健)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科 (科目)	保健体育 (保健)	単位数	1 単位	学年 (コース)	2 学年 (全コース)
使用教科書	大修館書店 現代保健体育				
副教材等					

1. 学習目標

日常生活において健康・安全についての理解を深めることで自らの健康を適切に管理・改善し、生涯を通じて健康の保持増進を図る資質と能力を育てる。

2. 指導の重点

- 思春期から中高年期までの健康や我々を取り巻く環境や制度に関する知識や技術を身につけるために、
- ①思春期から妊娠・出産までの心身の健康について、正しい知識に習得を目指します。
 - ②中高年までの健康について、保健医療制度も含めしくみを理解し、正しい知識の習得を目指します。
 - ③生活環境や職場環境について、安全面や健康管理についての知識の習得を目指します。

3. 指導計画

月	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	生涯を通じる健康	1 思春期と健康 2 性への関心・欲求と性行動	○思春期における体の変化について説明できる。 ○思春期の心の発達にかかわる健康課題が説明できる。 ○性意識の男女差を、具体例をあげて説明できる。 ○性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況や取り組み方 (関心・意欲・態度) ・課題等の提出状況や記述内容 (思考・判断、知識・理解) ・各定期考査の結果や単元テストの結果 (知識・理解) ・授業態度 ・各学期の考査前後に課題レポート ・各学期の考査前後に授業ノートを提出 ・単元毎に課題問題を行った場合 (自習時間等) などを、総合的に評価し、各学期評価する 学年末は各学期の点数を参考にして評価する
5		3 妊娠・出産と健康 4 避妊法と人工妊娠中絶	○妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ○妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。 ○家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ○人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できる。	3	
6		5 結婚生活と健康 6 中高年期と健康	○心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ○結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 ○年をとることにもなう心身の変化には、どのようなものがあるか説明できる。 ○中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて説明できる。	4	
7		◎期末考査		1	
9		7 医薬品とその活用	○医薬品の正しい使用方法について説明できる。 ○医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	2	
9		8 医療サービスとその活用 9 保健サービスとその活用	○さまざまな医療機関の役割について説明できる。 ○医療サービスを受けるときの留意点をあげることができる。 ○保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ○保健サービスの活用の例をあげることができる。	3	
10		10 さまざまな保健活動や対策	○民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。	2	
11	社会生活と健康	1 大気汚染と健康	○大気汚染の原因とその健康影響を説明でき	2	

			る。 ○地球規模の環境問題について、例をあげて説明できる。		
12		◎期末考査		1	
		2 水質汚濁、土壌汚染と健康	○水質汚濁の原因とその健康影響を説明できる。 ○土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。	2	
1		3 環境汚染を防ぐ取り組み 4 ごみの処理と上下水道の整備	○こんにちの環境汚染の特徴について説明できる。 ○環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明できる。 ○ごみの処理の現状や、その課題について説明できる。 ○安全で質のよい水を確保するためのしくみと、課題を説明できる。	3	
2		5 食品の安全を守る活動	○行政や生産・製造者による食品の安全のための対策について、例をあげて説明できる。 ○食品の安全のため、私たち消費者がおこなうべきことを例をあげて説明できる。	3	
		◎学年末考査		1	
3		6 働くことと健康 7 働く人の健康づくり	○働く人の健康問題が、どのように変化してきたかを説明できる。 ○労働災害の防ぎ方について説明できる。 ○職場がおこなう健康増進対策について例をあげて説明できる。 ○余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。	2	

計 3 2 時間（5 5 分授業）※進度により内容が変更する場合があります。

4. 課題・提出物等

- ・保健体育ノートの提出
- ・授業時に配布する課題プリントの提出
- ・DVD学習時におけるレポート提出

5. 評価規準と評価方法

評価は次の3観点から行います。		
関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
生涯を通じる健康、社会生活と健康について、関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
以上の観点を踏まえ ○授業への取組（授業態度、学習活動への参加状況等） ○提出物（保健ノート、課題、プリント、レポート等） ○定期考査（1学期末、2学期末、学年末） などから、総合的に判断します。		

6. 担当者からの一言

毎時間かならず、教科書と保健体育ノートを持参してください。
保健体育ノートは授業時や考査時に提出になります。
授業でのグループワークや発表では活発な意見を期待しています。